

# CO<sub>2</sub>削減に貢献できるリトレッドタイヤ

新品タイヤ製造時とリトレッドタイヤ製造時の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を比較してみます。

## 1. トラックバス用タイヤ1本の製造時の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量

※日本自動車タイヤ協会調べ

タイヤサイズ:275/80R22.5、275/70R22.5の場合

二酸化炭素排出量の単位:kgCO<sub>2</sub>e

工程	新品タイヤ	リトレッドタイヤ	削減量	削減比率
原材料調達	147.9	42.5	105.4	71.3 %
製造段階	35.6	24.2	11.4	32.0 %
小計	<b>183.5</b>	<b>66.7</b>	<b>116.8</b>	<b>63.7 %</b>

輸送段階	10.4	10.4
廃棄時(熱処理)	<b>57.5</b>	<b>57.5</b>

リトレッドタイヤ1本を製造する場合と、新品タイヤ1本を製造する場合を比較すると、リトレッドタイヤは二酸化炭素排出量を**116.8 kgCO<sub>2</sub>e(約64%)削減**します。

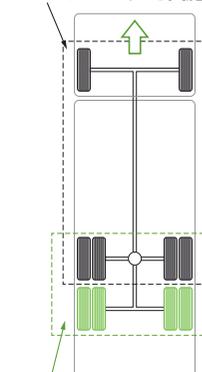
## 2. 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量の比較

### 大型トラックの場合(10輪車) 〈タイヤサイズ:275/80R22.5〉

二酸化炭素排出量の単位:kgCO<sub>2</sub>e

	新品タイヤのみ ※新品タイヤは全数廃棄		新品タイヤ+リトレッドタイヤ ※廃棄はリトレッドのみ、新品タイヤはリトレッドへ		
	新品タイヤ	廃棄本数	新品タイヤ	リトレッドタイヤ	廃棄本数
装着タイヤ本数	10本	10本	6本	4本	4本
CO <sub>2</sub> 排出量	1835 (183.5×10)	575 (57.5×10)	1101 (183.5×6)	266.8 (66.7×4)	230 (57.5×4)
CO <sub>2</sub> 排出量合計	2410		1597.8		
	CO <sub>2</sub> 排出量の差: <b>812.2 kgCO<sub>2</sub>e</b>				

新品タイヤは、装着6本でのローテーションを実施する



リトレッドタイヤは、リヤ軸内でローテーションを実施する

新品タイヤ+リトレッドタイヤは、全数新品タイヤを装着した場合と比較すると、二酸化炭素排出量を **812.2 kgCO<sub>2</sub>e(約34%)**削減します。

### 乗合バスの場合(6輪車) 〈タイヤサイズ:275/70R22.5〉

二酸化炭素排出量の単位:kgCO<sub>2</sub>e

	新品タイヤのみ ※新品タイヤは全数廃棄		新品タイヤ+リトレッドタイヤ ※廃棄はリトレッドのみ、新品タイヤはリトレッドへ		
	新品タイヤ	廃棄本数	新品タイヤ	リトレッドタイヤ	廃棄本数
装着タイヤ本数	6本	6本	2本	4本	4本
CO <sub>2</sub> 排出量	1101 (183.5×6)	375 (57.5×6)	367 (183.5×2)	266.8 (66.7×4)	230 (57.5×4)
CO <sub>2</sub> 排出量合計	1146		863.8		
	CO <sub>2</sub> 排出量の差: <b>282.2 kgCO<sub>2</sub>e</b>				

新品タイヤ



リトレッドタイヤ

新品タイヤ+リトレッドタイヤは、全数新品タイヤを装着した場合と比較すると、二酸化炭素排出量を **282.2 kgCO<sub>2</sub>e(約25%)**減します。